

年 組 名前：

## 自動運転車用の塗料開発

日本ペイント路面に塗り精度向上



慶応大を走行する自動運転バス（日本ペイントホールディングス提供）

日本ペイントホールディングスは、走行経路の路面に塗ること、車の自動運転を支援する塗料を開発した。搭載されたセンサーで塗装ラインをたどることで高い精度での走行が可能になる。慶応大の湘南藤沢キャンパス（神奈川県藤沢市）内を走る循環バスにこのほど導入された。将来的な商品化を目指し、導

入実績を増やしていく予定だ。

塗料は子会社の日本ペイント・インダストリアルコーティングス（東京）が開発。湘南藤沢キャンパスでは、自動運転で走る循環バスの一部区間1・3キロのアスファルト路面に、2列の破線状に塗布。バスは「LiDAR（ライダー）」と呼ばれるセンサーで塗料を認識しながら走行する。

塗料はアスファルトと似た色のため、通常の車のドライバが他の路面標示と誤認するのを避けることができる。道路に塗るだけのため導入コストが低く、トンネルなど衛星利用測位システム（GPS）を受信しにくい場所でも走行が可能になる利点がある。

5月に長崎県対馬市の公道で行われた自動運転の実証実験でも同塗料が活用された。

(2022年9月11日付 山梨日日新聞 5面)

### 問1

記事の企業は、どのような塗料を開発しましたか。

.....

### 問2

衛星利用測位システム(GPS)と比べ、何によって、どのような利点がありますか。

.....

.....

### 問3

あなたは、今後、この技術が、どのようなことに役立つと思いますか。

.....

.....

.....